

参考資料 災害霊との対話（ログは編集しています）

ハーティリアとアマツカゼ（意気投合型） 2015/12上陸の挽歌

ハーティリア
(アマツカゼ)

吹雪よ吹雪、ちょっと俺の声を聞いておくれでないかい？
妾に話しかけるものは誰だ…

ハーティリア

吹雪よ吹雪、語りかける俺はここ、俺は冒険者にして調律師、俺の声を聞いておくれ。

アマツカゼ

…妾はアマツカゼ。かつてこの北壁において1000の妖怪を眠りに導いた終焉の氷雪である。妾と対峙しようというのか、小さな生き物よ。

GM

相手の災害強度は30だ。

GM

勝負を行うか、対話を続けるか、エンカウントを切り上げるか選べます。
(ここでTPマネージメントのためのPT内会話が続く)

GM

早くしないとエンカウントが終わってしまいます。

GM

対話は目標値15で成功します。3回成功するごとに会話パートが進みます。
2d6+魔力で判定してください。

(仲間からパスマントラルを受けるハーティリア。対話も達成値18,22,15で成功)

ハーティリア

ピンゾロ以外が成功だから超怖え、会話パート進みました。

GM

会話パート進みます。先の問いかけの返答を行ってください。

ハーティリア

生憎と、これだけ吹雪いてるとその小さい者たちにはあ辛くてね。まあゆっくり、おじさんとお話でもしておくれな。

アマツカゼ

それは妾の知ったことではない。強かろうが弱かろうが、等しく雪に閉ざすのみ。話し相手か、酔狂なことだな。良かろう。妾にはどの道時間はある。無限にな。

ハーティリア

酔狂じゃないやつは、冒険者として吹雪の中を歩いたりしねえもんだからねえ……見栄と伊達と酔狂は、冒険者の華ってもんさな。ま、華だからって散りたかあねえがね。

アマツカゼ

ただでさえすぐに死ぬお前たちが自分を華に例えるとは滑稽な話だな。すぐに忘れるだろうが名前だけは聞いておこう。

ハーティリア

っと、失礼したねアマツカゼ、改めて、冒険者にして医者にして調律師、ハーティリアよ。まあ良かったら覚えておいておくれな。

アマツカゼ

見栄を張るのも小さなものの証拠だな。お前たち小さなものに、一体どんな見栄があり、欲望がある。所詮お前もメスと戯れて子をなすだけの唯の動物と同じであろう。

GM 30→27

GM 次の3回の判定をどうぞ。

(ハーティリアの達成値は19,21,20だった。成功)

ハーティリア ピンゾロ以外成功なので問題なしさね。

GM では返答をどうぞ。

ハーティリア 俺はメスにゃあ興味はねえが、詰るところは一緒だあね。まあ俺は、見栄より欲派ではあるが。まあ何だ、良い男に愛でられるなら、いずれ散る華でも悪かあねえ……吹雪の中でも咲き誇れたらなおのこと、良い男に恵まれるってもんさ。

アマツカゼ …詳しく話をきこうか？

ハーティリア ん〜？俺はほら、メスよりオスと戯りたい生産性の欠片もないオッサンだ〜って、そんだけの話よ？

アマツカゼ ……どうせ、メスと見分けも付かない稚児を抱くだけであろう？

ハーティリア え、巖のような男とか大好物だけど。

アマツカゼ 腹筋はどうだ。

(方向性がおかしくなってきた話に唾然とする仲間たち。内心ドキドキしているハーティリア)

ハーティリア がつつり割れてるのってなぞりたくなるよな。

アマツカゼ …フフフ

GM 27→12

GM 対話を続ける？

ハーティリア や、エンカウンターに挑戦するさな。

GM では判定をどうぞ

(ハーティリアの達成値は18だった。成功)

アマツカゼ 妾は最果ての氷雪アマツカゼ。暴風と氷雪、吹雪の星霊である。良かろう、お前についていくと「よいもの」が見れそうだ。狭い住処になるが我慢してやろう。

GM 大星霊アマツカゼの封印に成功した。

ハーティリア ありがとうアマツカゼ、まあ期待は裏切らないはずさね。

ミナヅキとフルーナ・ギル（格が高すぎる災害霊） 2016/12参謀本部

（大きな戦闘を前に力を借りたいが、災害霊フルーナ・ギルがいくら呼びかけても答えないと白面に相談したミナヅキ。白面に教えられた口上を唱える。既に封印石の所有者になっているので判定は発生しない）

ミナヅキ

我、幾千の時を超える狐、歴史に名を連ねる者、数多の邪仙の王にして歴たる伏見の稲荷森（とうかもり）を鎮守せし金毛白面九尾の狐に連なる者。名を水無月の九尾狐。邪仙の王、伏見の王、その両者たる権威を取り扱う五の席として汝フルーナ・ギルに命じる。汝我と対話し、我の力となり幾多の難を退けよ。いざや聞かん？

フルーナ

……ふう、やっと口の利き方を覚えたようだな。小娘。この私を持つだけ持って語り掛ける言葉も持ち合わせていないとは、正直失望していたが。まあよい。それなりに勉強したようだ。その努力に免じて口をきいてやろう。何用だ？

（フルーナ・ギルの声は老翁のようだった）

ミナヅキ

うむ、その、持つだけ持っていて、炎の力を勝手に借りていただけだったのも、一重に妾の力不足、勉強不足ゆえ。まずはそれを謝らせて貰いたい。

フルーナ

殊勝なことだな。

ミナヅキ

その上で、改めて。…妾と契約せよ、フルーナ・ギル。お主本来の力を、妾へと貸して欲しい。

フルーナ

断る。

ミナヅキ

…何故？

フルーナ

我はもう飽いた。だれもかれも契約してもすぐに寿命で死ぬ。何故滅びの七夜たる大災害の我が、節操もなくころころ主を変えねばならん。

フルーナ

我は主を作るつもりはない。…だがまあ、我が力を垣間見ない世代に畏れを失われるのも気に食わない話だ。小娘、貴様を主に据えるつもりはないが、我が力を使わせてやろう。存分に振るって我が畏れで世界中を震え上がらせるがいい。これは命令だ。

ミナヅキ

うむ、それで良い。元より、お主を自分の下につけられるとなど思っておらぬよ。…任せておくがよい。…今はまだ、それで良い。

解説（GS 激闘！赤竜皇帝ヴォルケイノでのGMの説明より）

星霊には口の利き方（定型文）があります。そして高位の星霊ほどそれにこだわります。

（アマツカゼのように）こだわらない星霊もありますが、ドルイドでもない人間が星霊を起こすなら形式を重んじた口の利き方をしないとイケません。

しかしそれはドルイドとて同じなことで、なあなあを許してくれない星霊は確かに存在します。

星霊との定型句は、『自身の高貴さを証明する証拠を示し、自身の名を名乗り、そして星霊の名前を呼んで願いをいう。そしていざや聞かん？』で最後を結びます。

星霊に言うことを聞かせるだけの身分、もしくは血の証が証明できなければ相手は呼応しません。

（例文）我、半獣の祖、国主テレサ・ティガールの血に連なるもの、名はエリザベート・ティガール。連綿たる王の血筋の名に於いて、水の大災害たる汝ザンバドルに命じる。汝の持てる洪水の力を用いて、我が目の前の王敵をことごとくなぎ払え。いざや聞かん？

名乗り方ひとつでも言い方があるようです。相手は星霊の大貴族のような存在です。

私見

フルーナ・ギルもアマツカゼも寿命が短い（広義の）人間に付き合うのはあまり気が進まないようなことを言っていますので、それに対するフォローがあると良いかも？ また、身分や血の証が立てられない場合では自分の実績を示すことができればまだチャンスはあると思っています。（ただし、星霊がその実績に価値を認める必要がある）それもだめなら、（アマツカゼの場合のように）自分と行動することにより星霊が得るメリットを示すくらいしかできないかもしれません。

なお、星霊に対する名乗りは形容詞が一つか二つでは言い方が不足でダメ出しされます。ごてごてに飾った方が良いでしょう。

（実際にダメ出しされた例を載せるのはあまり好ましくないと判断しましたので削除しました）